

# 田端ひととき散歩

## 平成24年～28年度開催内容一覧

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
第1回 (4月)	<b>田端文士村概論</b> ～成立以前から終焉まで～ 芥川龍之介、室生犀星、板谷波山、香取秀真、小杉放庵	<b>文芸芸術家村のはじまり</b> ～小杉放庵の熾した小さな種火～ 小杉放庵、板谷波山、吉田三郎、香取秀真、芥川龍之介	<b>文芸芸術家村の草創期～画家・小杉放庵が選んだ田端とは～</b> 小杉放庵、板谷波山、吉田三郎、香取秀真	<b>田端が「画かき村」だった頃</b> ～ポプラ倶楽部の人びとを中心に～ 小杉放庵、山本鼎、倉田白羊、芥川龍之介	<b>村上元三 没後10年</b> ～直木賞を支えた作家の生涯～ 村上元三、菊池寛、山手樹一郎、岩田専太郎
第2回 (5月)	<b>板谷波山、かつて美しき日本人がいた</b> ～映画「HAZAN」上映会～	<b>サトウハチローと大正昭和の児童文化</b> ～時代を超えて伝わる詩と名曲～ サトウハチロー、野口雨情、斎藤佐次郎、山本鼎	<b>正岡子規</b> ～今なお眠る地に遺した歌の心～ 正岡子規、香取秀真、土屋文明、鹿兒島寿蔵	<b>田端文芸芸術家村の終焉</b> ～戦後70年を迎えて～ 小杉放庵、板谷波山、村上元三、岩田専太郎	<b>鉄道からはじまる田端の街ものがたり</b> ～田端駅開業120周年に寄せて～ 小杉放庵、板谷波山、芥川龍之介、室生犀星
第3回 (6月)	<b>金沢ゆかりの田端文芸芸術家たち</b> ～室生犀星を中心に～ 室生犀星、吉田三郎、中野重治、窪川鶴次郎、萩原朔太郎	<b>板谷波山、かつて美しき日本人がいた</b> ～映画「HAZAN」上映会～	<b>板谷波山、かつて美しき日本人がいた</b> ～映画「HAZAN」上映会～	<b>東京-金沢のかけはしとなった文士たち</b> ～北陸新幹線がつなぐゆかりの地～ 室生犀星、吉田三郎、中野重治、窪川鶴次郎	<b>板谷波山、かつて美しき日本人がいた</b> ～映画「HAZAN」上映会～
第4回 (9月)	<b>没後110年、正岡子規に連なる田端文士</b> ～短歌の系譜を中心に～ 正岡子規、香取秀真、土屋文明、鹿兒島寿蔵、高田浪吉	<b>堀辰雄『風立ちぬ』</b> ～巨匠が原案に選んだ物語～ 堀辰雄、室生犀星、中野重治、窪川鶴次郎、佐多稲子	<b>児童文化を担った田端人</b> ～のらくろ生みの親・田水泡河を中心に～ 田水泡河、サトウハチロー、野口雨情、山本鼎	<b>子規から始まる文士と野球</b> ～糸瓜忌にちなんで～ 正岡子規、押川春浪、竹久夢二、サトウハチロー	<b>俳人・正岡子規</b> ～子規が目指した新奇の俳句とは～ 正岡子規、久保田万太郎、瀧井孝作、小穴隆一
第5回 (10月)	<b>芥川龍之介</b> ～その生涯と華麗なる交友関係～ 芥川龍之介、小穴隆一、堀辰雄、下島勲、鹿島龍蔵	<b>田端の美術工芸作家たち</b> ～岡倉天心没後100年にちなんで～ 岡倉天心、板谷波山、香取秀真、内藤春治、小川三知	<b>芥川龍之介 1914年以後</b> ～田端転入100年を迎えて～ 芥川龍之介、室生犀星、小穴隆一、菊池寛	<b>文士の手紙</b> ～大切な人だけに見せた文士の素顔～ 芥川龍之介、室生犀星、堀辰雄、林芙美子	<b>朔太郎と犀星</b> ～水魚の交わり～ 萩原朔太郎、室生犀星、堀辰雄
第6回 (11月)	<b>田端で育まれた児童文化</b> ～野口雨情生誕130年にちなんで～ 野口雨情、斎藤佐次郎、サトウハチロー、田水泡河、竹久夢二	<b>子規と漱石と芥川</b> ～友人から師弟へとつながる文学の道～ 正岡子規、芥川龍之介、香取秀真、土屋文明	<b>文士の食卓～何を食べていたのか気になりませんか？～</b> 芥川龍之介、室生犀星、菊池寛、林芙美子、正岡子規	<b>ポプラ坂に暮らした鑄金家の話</b> ～内藤春治生誕120年～ 内藤春治、香取秀真、香取正彦	<b>村山槐多 生誕120年</b> ～夭逝の画家、その人生～ 村山槐多、山本鼎、小杉放庵、倉田白羊
第7回 (12月)	<b>田端の大衆文学作家と挿絵画家</b> ～小説と挿絵との至福の出会い～ 川口松太郎、岩田専太郎、石井鶴三、山手樹一郎、村上元三	<b>芥川龍之介文学入門</b> ～初期の作品を中心に～ 「羅生門」、「鼻」、「蜘蛛の糸」	<b>田端に暮らした女性作家</b> ～近代女性文学の先駆けたち～ 佐多稲子、野上弥生子、林芙美子、林きむ子	<b>板谷波山、かつて美しき日本人がいた</b> ～映画「HAZAN」上映会～	<b>田端で生まれた童心世界</b> ～児童を惹きつけるその人間力とは～ サトウハチロー、竹久夢二、田水泡河、野口雨情
第8回 (3月)	<b>時代をかけた女性たち</b> ～女流文学への招待～ 林芙美子、野上弥生子、佐多稲子、平塚らいてう	<b>田端の坂ものがたり</b> ～文芸芸術家と坂にまつわるエピソード～ 江戸坂、不動坂、ポプラ坂、与楽寺坂、八幡坂	<b>犀星の美学～詩と小説と～</b> 室生犀星、芥川龍之介、萩原朔太郎、堀辰雄	<b>芥川龍之介の日常生活</b> ～周辺の人びとが見たその素顔～ 芥川龍之介、芥川文、室生犀星、小穴隆一	<b>田端の王様・芥川龍之介の憧憬</b> ～“漱石山房”と“澄江堂”～ 芥川龍之介、菊池寛、野上豊一郎、野上弥生子